若宮戸築堤工事 工事見学会（第3回）

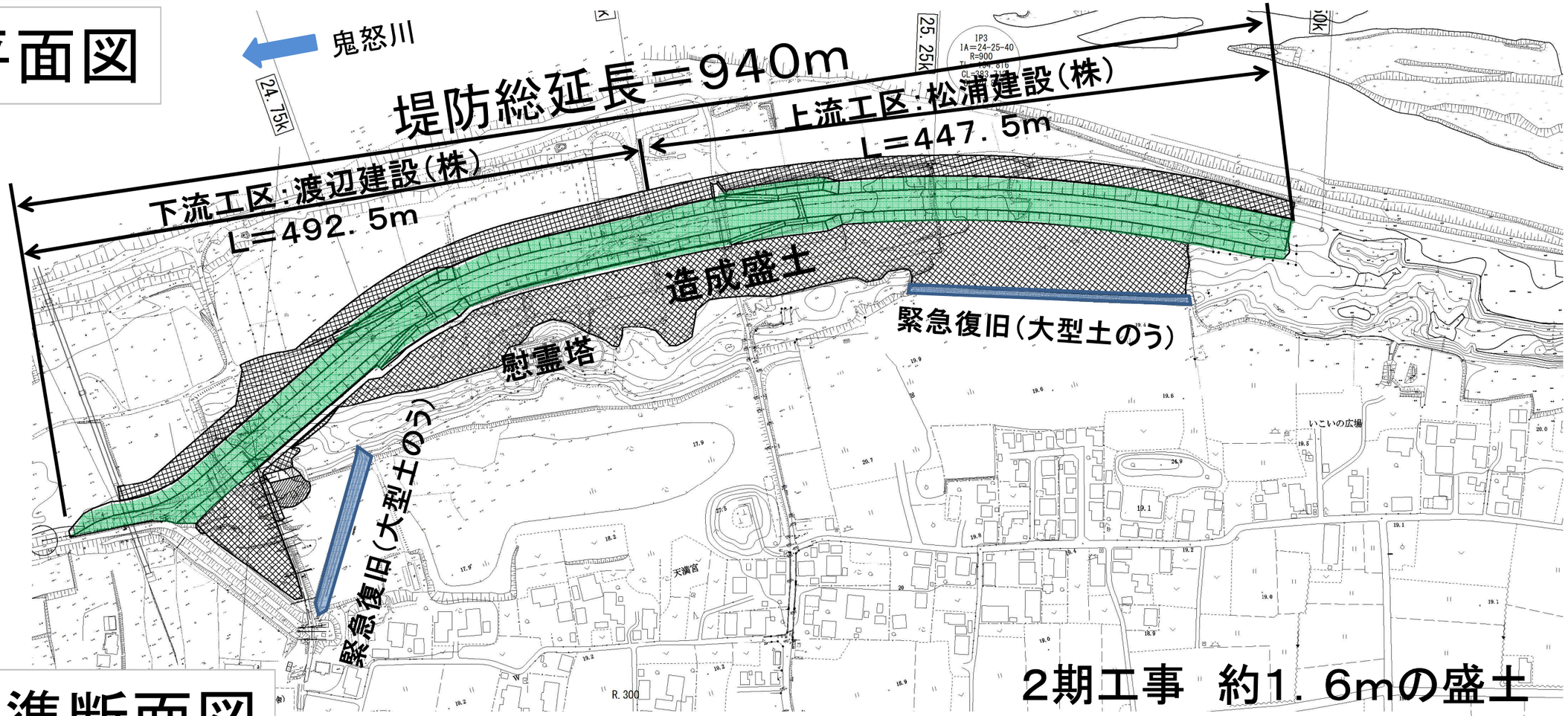
平成28年6月19日（日）

国土交通省　下館河川事務所 鎌庭出張所

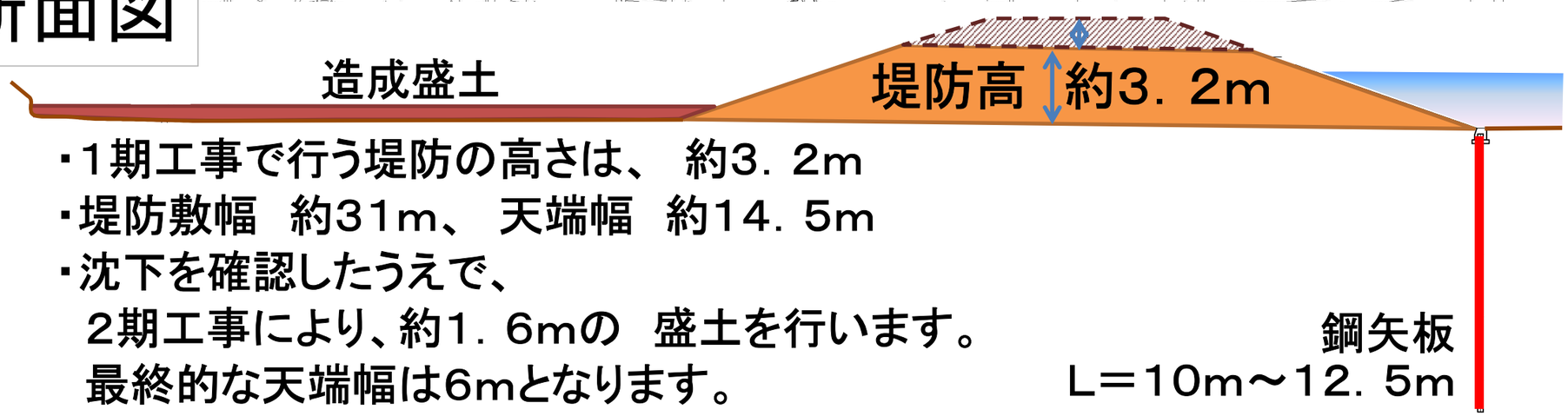
渡辺建設㈱　・　松浦建設㈱

■若宮戸築堤工事　堤防の概要

平面図

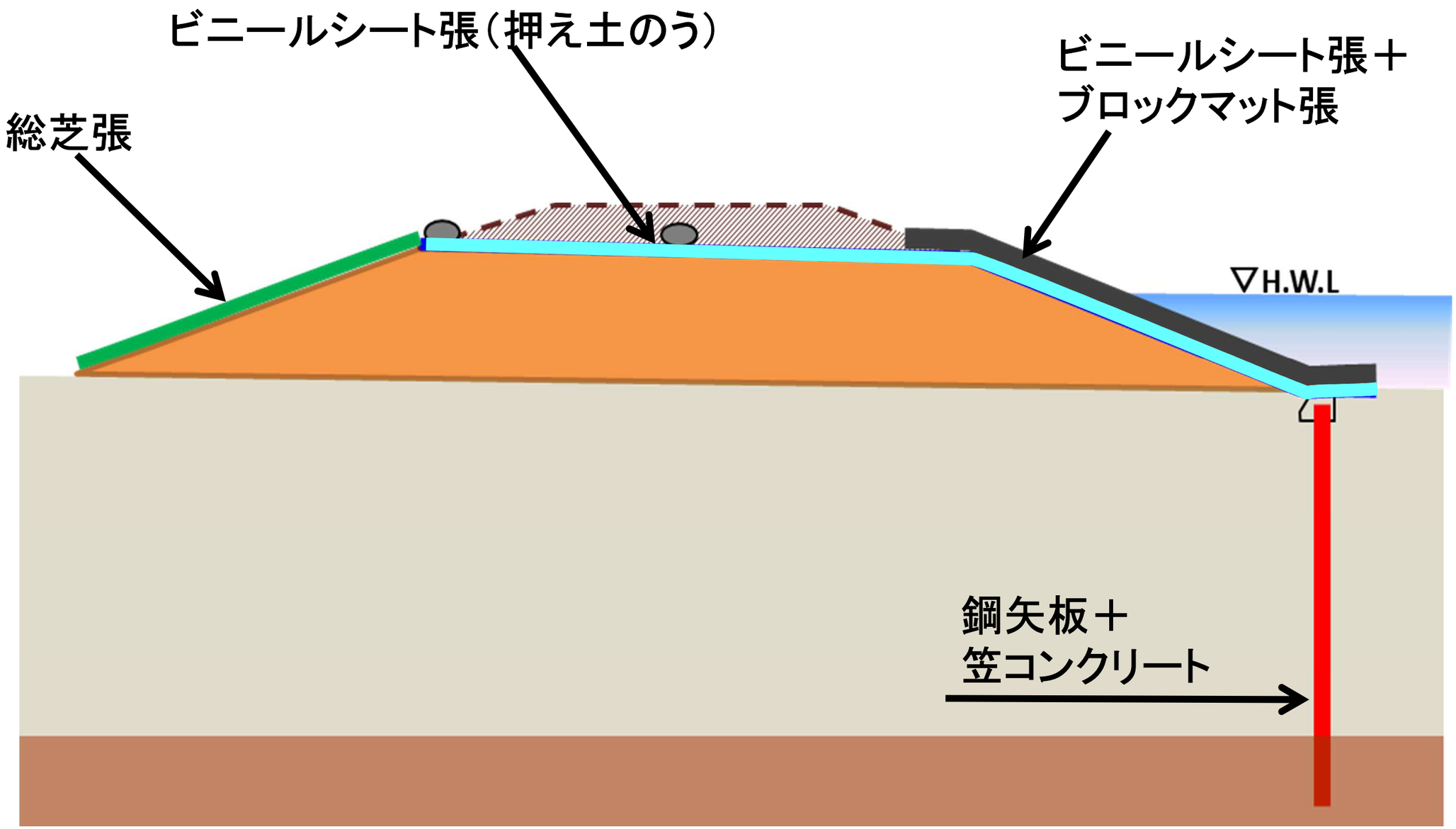


標準断面図



・1期工事で行う堤防の高さは、　約3．2m
・堤防敷幅　約31m、　天端幅　約14．5m
・沈下を確認したうえで、
　2期工事により、約1．6mの　盛土を行います。
　最終的な天端幅は6mとなります。

■若宮戸築堤工事　1期工事完了時　断面図(イメージ)



■工事の作業工程

3／28 **伐採、除根**
- 盛土部
- 工事用道路部

4／16 **基盤整備**
- 盛土部
- くぼ地埋戻し
- 混合ヤード

4／28 **築堤土作成**
- 混合土材料運搬
- 築堤土混合

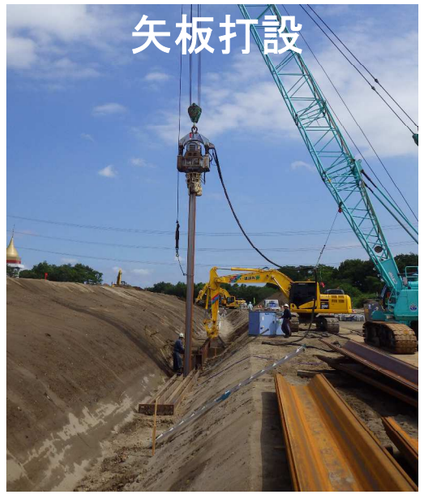
4／30 **試験盛土**

5／7～ **築堤**
- 盛土
- 堤体養生（法面整形、芝など）

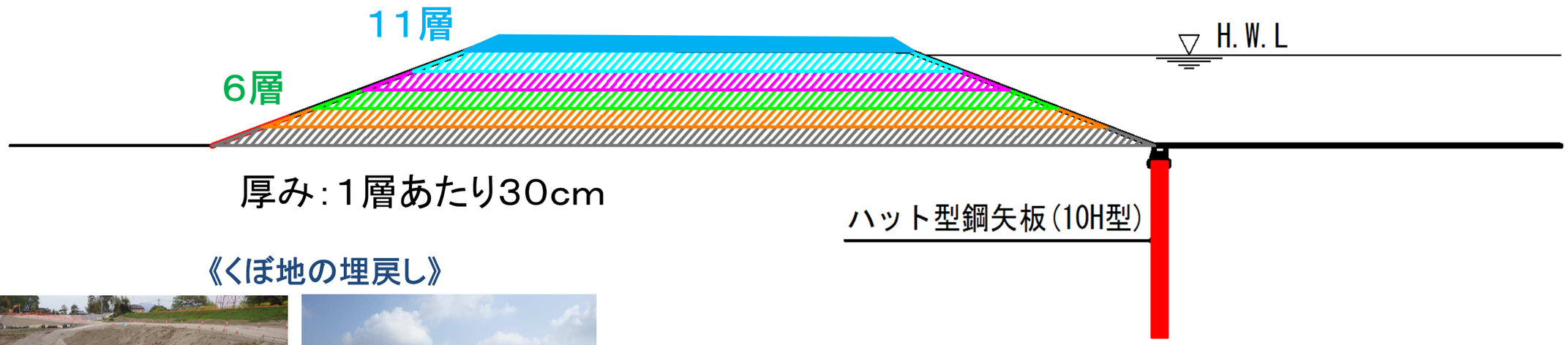
6／7～ **鋼矢板打設**
- 鋼矢板打設
- 笠コンクリート施工

大型土のう撤去 → **造成盛土**

土砂混合機による

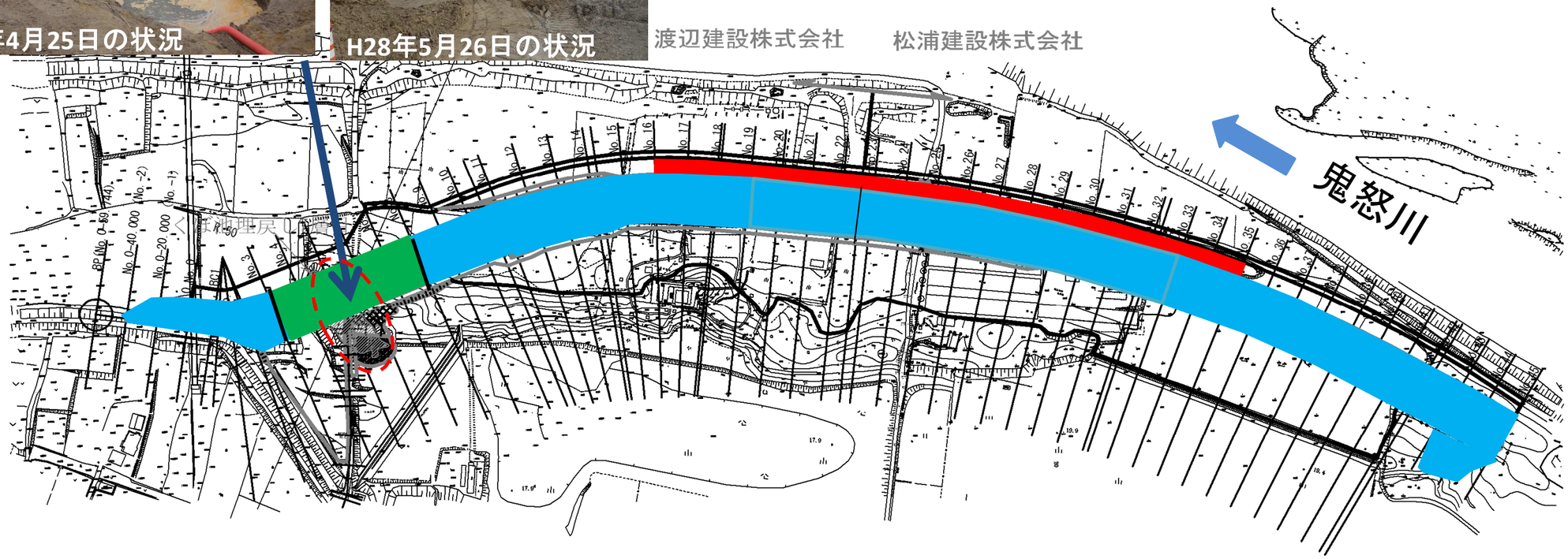


■築堤工事進捗状況（平成28年6月19日時点）

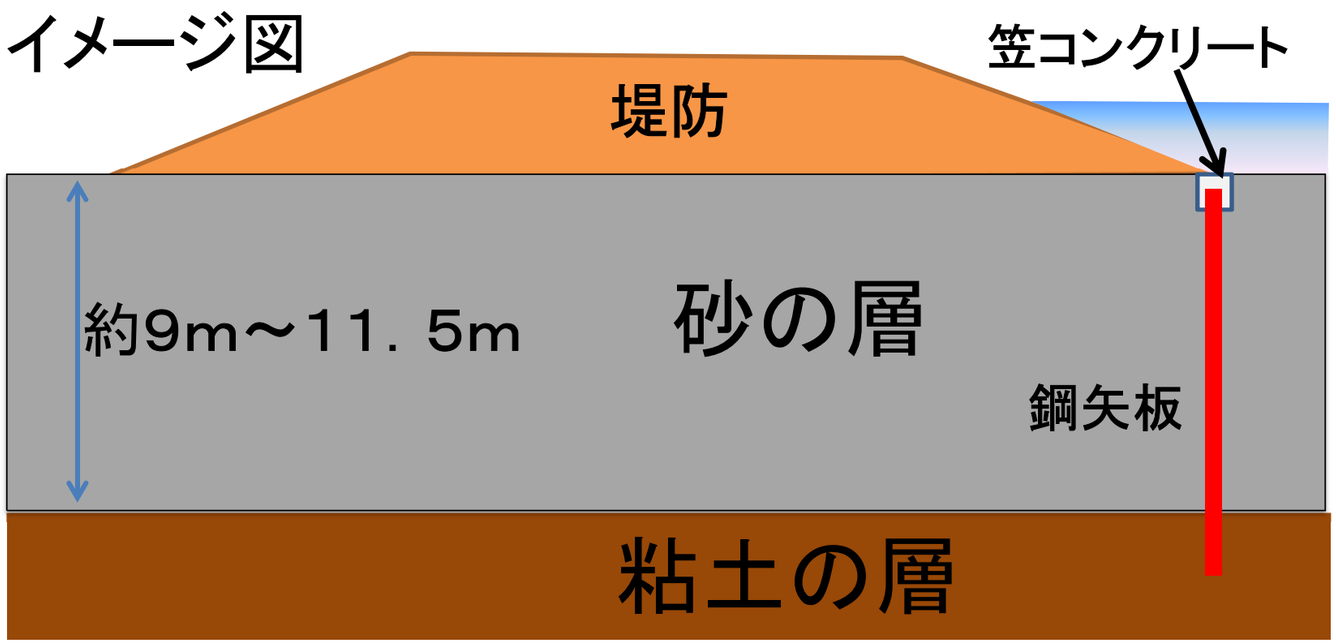


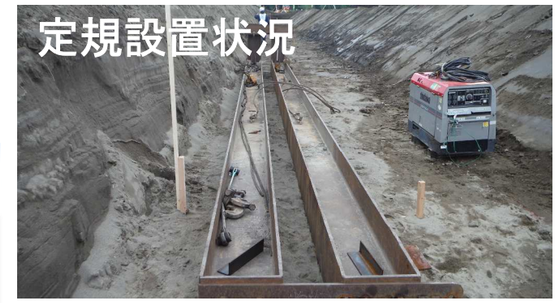
《くぼ地の埋戻し》

平面図



■鋼矢板の打設手順





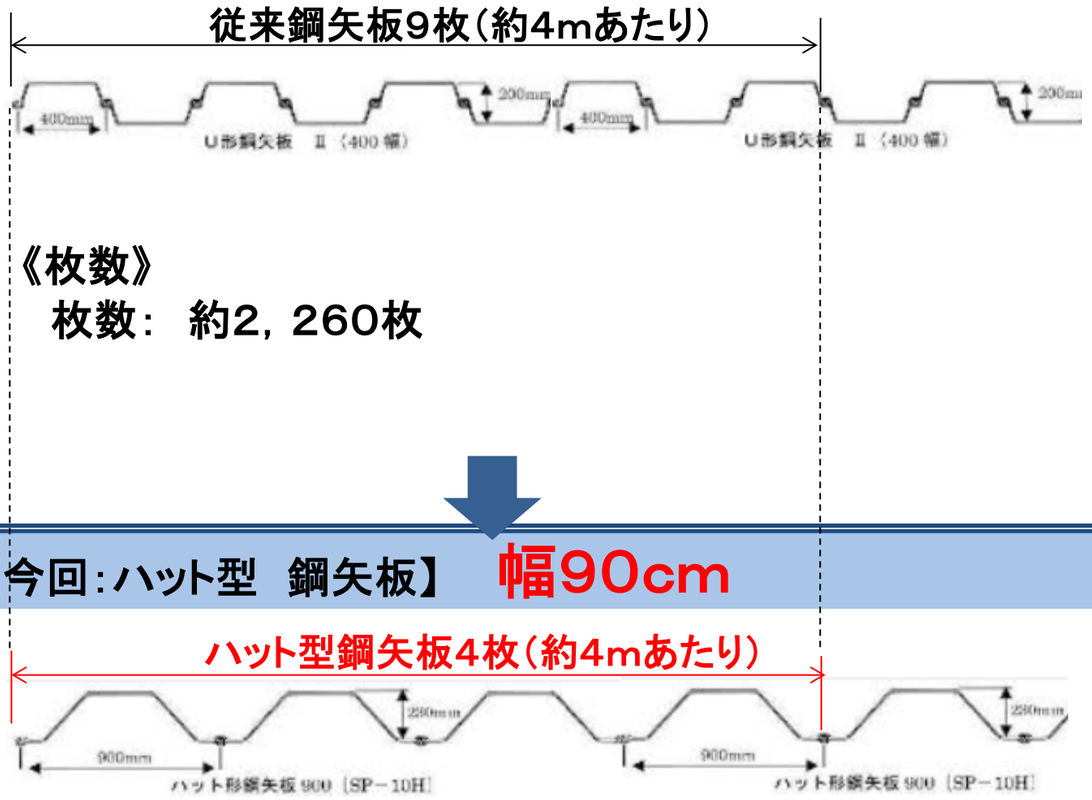
鋼矢板打設から笠コンクリート設置までの作業手順

床掘り → 定規設置 → 鋼矢板吊込み → 鋼矢板打設 → 笠コンクリート設置 → コンクリート打設 → コンクリート養生 → 埋戻し

■従来工法との比較（ 鋼矢板 と 笠コンクリート ）

■鋼矢板の打設について《鋼矢板施工延長》:約905m

【従来:U型 鋼矢板】 幅40cm



《枚数》
枚数: 約2，260枚

【今回:ハット型 鋼矢板】 幅90cm

《枚数》
枚数:約1，000枚

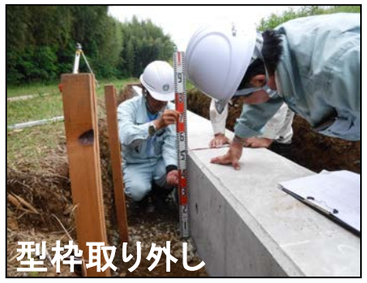
《メリット》
従来鋼矢板の2枚分が今回のハット型なら1枚で施工可能。

約4割程度、鋼矢板打設期間の短縮が図れます。

■笠コンクリートの設置《笠コンクリート施工延長》:約905m

【従来:コンクリート現場打設】

《作業工程》①鉄筋組立て
②型枠組立て
③生コンクリートを注入
④固まるまで養生
⑤型枠取外し



【今回:プレキャスト(工場製作製品)】

《作業工程》
①鋼矢板頭部に設置
②生コンクリートを注入
③固まるまで養生

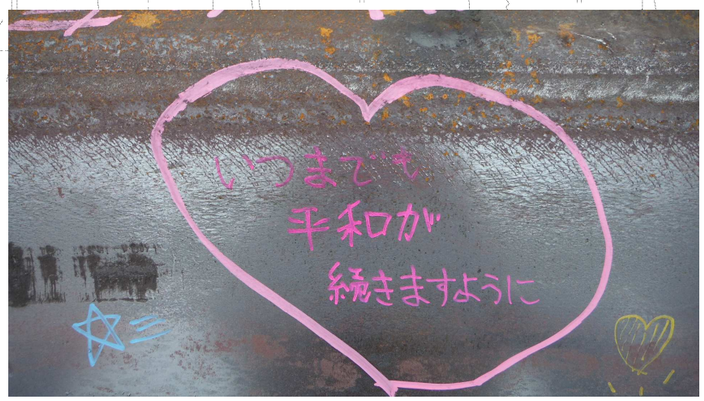
《メリット》
工場製作製品であるため、従来現場打ち笠コンクリートの工程を省略
（従来工法の①②⑤工程を省略）

約7割程度、笠コンクリート設置期間の短縮が図れます。

■若宮戸築堤工事　築堤工事見学会の経路

本日の作業内容

- 築堤盛土
- 鋼矢板打設



❶築堤工事の説明を行います。

❷堤防の上で、実際の堤防の幅、高さをご覧いただきます。

❸鋼矢板の打設状況をご覧いただきます。

・鋼矢板にメッセージサインをお願いします。